



倫理

第3問 問3

カントの思想と資料を合わせて考察する問題

問3 下線部㉔に関連して、Fと先生Tは次の会話を交わした。カントの思想と後の資料についての説明として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 19

F：カントによれば、人間は道徳法則の命令に無条件に従うべきなのですね。美しさについても無条件の法則があると考えているのでしょうか？

T：いい質問ですね。カントは、道徳の判断も美の判断も、普遍的な立場から行われるべきだと述べていますが、美の場合は、普遍的な法則を根拠にするのとは異なる判断の仕方を求めています。彼は美を判断する能力のあり方を「共通感覚」と呼び、この資料のように説明しています。

資料 カント『判断力批判』より
(著作権の都合により非表示としています)

F：なるほど。カントの要求を満たすのは簡単ではなさそうですね…。

- ① 認識能力の範囲と限界を問う批判哲学を唱えたカントは、資料によれば、他人なら美しさをどう判断するか、その可能性を考慮せよと求めた。
- ② ルソーによって「独断のまどろみ」から目覚めたと語ったカントは、資料によれば、美について自己の限定された視点を乗り越えるよう求めた。
- ③ 感性と悟性の協働により認識が成立するとしたカントは、資料によれば、美について自己が行う判断を、他者が行った判断と照合すべきだとした。
- ④ 「物自体は認識に従う」というコペルニクスの転回を唱えたカントは、資料によれば、人は自分の個性に即した独自の美の基準を持つべきだとした。

出題の特徴

生徒と先生の会話文と原典資料を読み、カントの思想の理解と、資料の読解力が求められた問題です。カントの批判哲学についての理解が問われたとともに、会話文やカントの『判断力批判』の資料から、彼が美についてどのように考えたかを読み取れたかがポイントでした。

2025共通テストに向けて

基本的な知識の理解と資料の読解力が求められる問題は、共通テストでも複数出題されました。

まずは、思想家や思想内容について、重要な語句や用語は単に覚えるだけでなく、その意味内容を正確に理解しておくことが重要です。また、さまざまな思想家の共通点や相違点、ほかの思想家や思想への影響や批判なども含めて理解を深め、思想家の考えを体系的に把握しておくことで、より深い理解につながります。

それに加えて、資料を使って読解力や多面的・多角的に考察する力などが求められるので、教科書や資料集で原典にふれて読解力をつけることが大切です。また、「美とは何か」「正義とは何か」などの人生観や倫理観に関するテーマについての哲学的な議論にも慣れておきたいです。

2024年度大学入学共通テスト
「倫理」

受験者数： 18,199人
平均点： 56.44点
標準偏差： 13.90

教材のご紹介

教材のご紹介 … 「進研WINSTEP 倫理 [新課程版]」



定価 1,030円 (税込み)

活用できる知識を習得し、解答する力を身につける

カントの認識論と道徳論は必ずおさえておきたい重要事項です。第3問の問3は、カントが批判哲学を唱えたことや、カントの認識論とコペルニクスの転回の内容を理解し、そのうえで資料を正確に読み取れば、正答にたどり着くことができます。

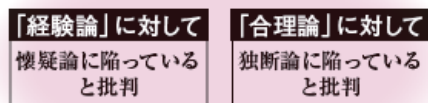
カントの思想と資料を合わせて考察する問題

頻出ポイント1 カントの認識論と批判哲学



経験論と合理論を総合したカントの批判哲学をおさえよう。

カントの認識論



批判的に総合

批判とは、吟味・検討することだよ。

「認識が対象に従うのではなく、
対象が認識に従う」

認識とは、
感性が受け取った素材
(印象)を悟性が思考の
枠組みのなかで再構成
すること

この認識上の転換を

(①)

)とよんだ

カントの著書

「純粋理性批判」
認識論について
「実践理性批判」
道徳論について
「判断力批判」
美学について
『(②)』
国際平和について

これがのちの国際連盟
設立につながった

入試頻出の知識を「使える状態」に整理し、3年生2学期からの本格的な実戦演習へ

「2025共通テスト対策【実力完成】直前演習 公共、倫理」(2024年6月発刊)